

立命館人間科学研究

第34号

目 次

■原著論文

- 障害者が教員になることを阻む社会的障壁
—教員採用試験を点字受験した視覚障害教員の語りから— 中村 雅也 (1)
- 家庭奉仕員制度の歴史における「間隙」
—1970年代における社会的位相に着目して— 佐草 智久 (19)
- 「学校社会事業 (スクールソーシャルワーク)」「学校福祉」の実践に関する研究
—「非行・問題行動」に対する実践の歴史に着目して— 中西 真 (35)
- 裁判員裁判における評議パターンの提案
—質的・量的分析の統合から—
小坂祐貴・山崎優子・石崎千景・中田友貴・若林宏輔・サトウタツヤ (49)

■実践と論考

- トランスレーショナル対人支援研究
—より能動的・体系的な学・実連携研究に向けて— 松田 亮三 (69)

■講演録

- アメリカにおける冤罪原因とイノセンス運動の意義
Causes of Wrongful Convictions and the Significance of the Innocence Movement
Brandon L. Garrett
翻訳：笹倉 香奈 (77)

- 執筆者紹介 (91)

- 『立命館人間科学研究』について (93)
-